

# センボンギク

*Aster microcephalus* (Miq.) Franch. et Sav. var. *microcephalus*  
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

溪流植物の一種で、生育地・個体数ともに少ない。

## 分布

国内では（中部地方以西）～九州に分布する。大野市。

## 種の特徴

ノコンギクの基準変種で葉が狭披針形、深山の溪流沿いに自生する。

## 生育を脅かす要因

環境の変化を受けやすく、また園芸用に利用される。

参考文献 加藤雅啓・海老原淳（2011）、奥山春季（1984）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# ワカサハマギク

*Chrysanthemum wakasaense* Shimot. ex Kitam.  
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

越前海岸を中心に日本海沿岸の福井～鳥取間に分布するが、本県では海岸の環境が大きく変わり、自然の岩場や砂礫地がほとんどなくなり、個体数が激減している。

## 分布

国内では福井県～鳥取県の日本海側に分布する。福井市～高浜町に至る海岸沿いと、多少内陸に入った山地に分布する。

## 種の特徴

山地性のリュウノウギクに似ているが、やや大型で、葉や頭花、それに総苞片もリュウノウギクに比して大きい。花は白だが、のちに淡紅をおびることがある。リュウノウギクの染色体は $2n=18$ で、ワカサハマギクは $2n=36$ の倍数体であるという。

## 生育を脅かす要因

海岸開発。（駐車場、海水浴場、営業施設の造成等）

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、加藤雅啓・海老原淳（2011）、矢原徹一ほか（2015）、林弥栄・平野隆久（2013）、福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○	○	○									○

# イワギク

*Chrysanthemum zawadskii* Herbach subsp. *latilobum* (Maxim.) Kitag. var. *dissectum* (Y.Ling) Kitag.  
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

本県では産地・個体数とも極めて少ない。

## 分布

国内では点々と生育地が見つかり、隔離分布の遺存状態と考えられる。大野市、勝山市。

## 種の特徴

山地の岩場等に根を伸ばし、茎は高さ10～60cmほどになる。葉は広卵形、長さ1～3.5cm、2回羽状に深裂、腺点がある。花は白色で枝先に単生、茎3～5cm、総苞片は線形で3列。背部の毛は少ない。

## 生育を脅かす要因

登山道の整備等。

参考文献 林弥栄・平野隆久（2013）、矢原徹一ほか（2015）、若杉孝生（2008a）、佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1998）、奥山春季（1984）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	